

自然と共生する製紙原料事業



豊かな自然が眼下に広がるオフィスで小和郎社長（右端）の説明を熱心に聞く

「アルパカンパニー」は、1970年12月14日、本格的に製紙原料事業を開始。以来、日本製紙工業会に所属し、製紙原料の供給に努めてきた。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。

レポート1 カナダ三菱商事を訪問 先を見越した事業展開

広大な森林や石炭などの豊富な天然資源を持つ、環境保護の先進国でもあるカナダの高校生、日本人が中心となり、カナダの中心市街地バンクーバーに8人からなる「カナダ三菱商事」の体験ツアーに参加。さまざまな仕事を学び、アルパカンパニーでは、紙の原料となるパルプの生産現場の下で働く現場での貴重な体験を通して、製紙原料事業の歴史や文化についても触れ、先を見越した事業展開について、



参加した高校生リポーター

- 参加校名
 五十嵐 真理 (福井県三国高等学校) 大庭 直也 (福井県三国高等学校) 加藤 利雄 (福井県三国高等学校)
 若菜 遥菜 (福井県三国高等学校) 行徳 圭太郎 (福井県三国高等学校) 小宮 友樹 (福井県三国高等学校)
 天谷 香織 (福井県三国高等学校) 小嶋 真樹 (福井県三国高等学校)
- 以上8人のメンバーから多数の応募の中から選ばれました

「豊かな自然が眼下に広がるオフィスで小和郎社長（右端）の説明を熱心に聞く」

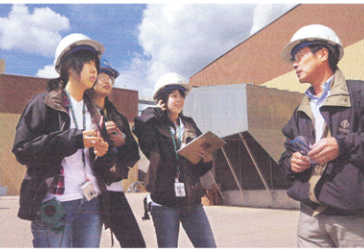
「アルパカンパニー」は、1970年12月14日、本格的に製紙原料事業を開始。以来、日本製紙工業会に所属し、製紙原料の供給に努めてきた。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。

レポート2 製紙原料工場を取材 環境保全の大切さ実感

「製紙原料工場」は、製紙の中心となる工程であり、製紙原料の供給に努めてきた。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。

「製紙原料工場」は、製紙の中心となる工程であり、製紙原料の供給に努めてきた。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。

「製紙原料工場」は、製紙の中心となる工程であり、製紙原料の供給に努めてきた。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。



製紙原料工場での作業風景。安全対策が徹底されている。

「現地学生と文化交流」は、現地学生と文化交流の場を設け、相互理解を深める。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。

「現地学生と文化交流」は、現地学生と文化交流の場を設け、相互理解を深める。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。

「現地学生と文化交流」は、現地学生と文化交流の場を設け、相互理解を深める。現在は、企業価値向上の観点から、環境にやさしい事業展開が求められる中、製紙原料事業の発展と、環境共生の両立を模索している。



交流会で贈り物を交換、笑顔が広がる

海外プロジェクト探検隊 三菱商事の海外事業や現地の文化を体験しよう

この海外プロジェクト探検隊は、毎年公募した高校生をリポーターとして海外に派遣し、現地を視察した内容をコミック・オンラインで発表してもらいシリーズ企画。

探検隊は、三菱商事の海外で展開しているプロジェクトの現場を訪問するほか、現地学生との国際交流や学生文化など、さまざまなプログラムを体験。未来の日本を創る高校生たちに、総合商社の仕事や異文化への理解を促し、今後社会で活躍するための糧ともなうことを期待している。

探検隊で、「アルパカンパニープロジェクト」「タイ自動車プロジェクト」「中国繊維・物産プロジェクト」「オーストラリア石炭採掘プロジェクト」の4分野を、実施しており、今回の「カナダ製紙原料プロジェクト」は5回目となる。

高校生リポーターWEB新聞 ヨミウリ・オンラインで公開中

高校生リポーターの現地体験や感想を「WEB新聞」に掲載しています。皆さんからの意見、ご感想も受け付けています。ぜひアクセスしてください。

<http://www.yomiuri.co.jp/adv/tanken/>

■体験ツアー報告会

9月15日、「カナダ製紙原料プロジェクト」体験ツアーの報告会が開催された。ツアーに参加した高校生たちが、体験したプログラムのアーカイブレポートを作成。カナダで開催する三菱商事のプロジェクトを中心に、現場で学んだことと感じたことなどを発表しあった。

報告会で付けた感想文には、「夜視機、Vol.1-Vol.4に登場したパルプの自然、伐採や伐後処理の現場、自分が参加した際の体験談、今回のレポートの感想などがついでに話げられた。